

## 蜷川実花氏が捕えたパラアスリートたちの姿を迫力の大判で！ 写真展「PARA ATHLETE」7月17日まで 義足やブラインド競技のボールも展示

会期：2019年6月6日(木)～7月17日(水) 会場：キャノンギャラリー S(東京都港区)、入場無料

日本財団パラリンピックサポートセンター(以下、パラサポ)は、2019年6月6日(木)～7月17日(水)までキャノンギャラリー S(東京都港区)にて、写真展「PARA ATHLETE ～パラアスリートたちの息づかいと、パラスポーツの興奮～」を開催しています。

写真と映像で「PARA ATHLETE」の魅力に迫る本写真展は、写真家・映画監督の蜷川実花氏が監修するパラスポーツと未来を突き動かすグラフィックマガジン「GO Journal (ゴージャーナル)」に掲載した写真17点を高画質、高精細の大判写真で魅せる迫力の展示に始まり、4年に一度のパラリンピックの舞台だからこその一瞬を捉えた報道写真17点も展示。

「WHO I AM」ミニシアターでは、IPC(国際パラリンピック委員会)とWOWOWの共同プロジェクト、パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ「WHO I AM」のシーズン1～3までのダイジェスト映像21本を上映します。また、東京2020パラリンピック全22競技の報道写真と競技用具も展示します。

※期間中のご取材を受け付けております。ご検討いただける際には、事前に別紙申請書にてお申込みください。

=記=

### PARA ATHLETE

パラアスリートたちの息づかいと、パラスポーツの興奮

会期：2019年6月6日(木)～7月17日(水) 10時～17時30分

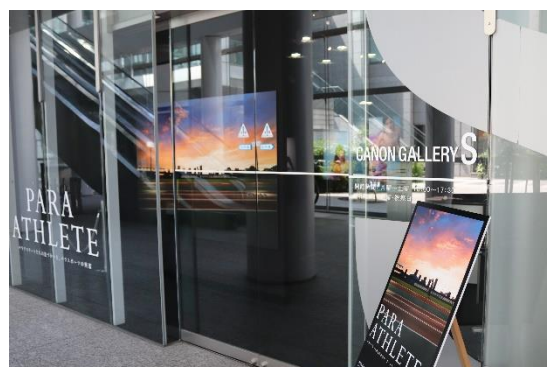
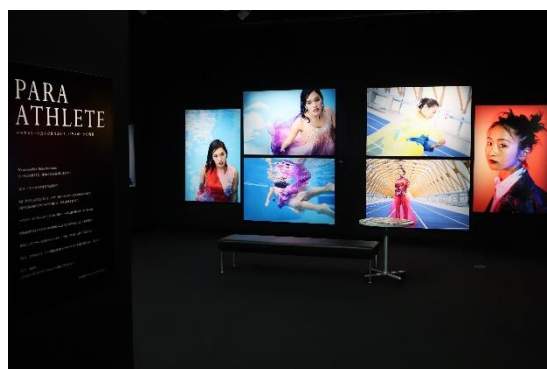
※日曜・祝日休館、入場無料

会場：キャノンギャラリー S

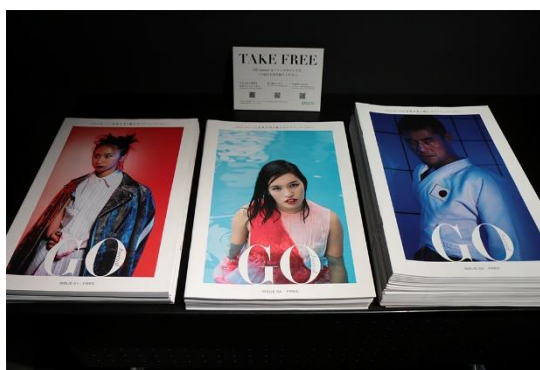
(東京都港区港南2-16-6 キャノン S タワー 1F TEL. 03-6719-9021)

主催：公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター

後援：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会

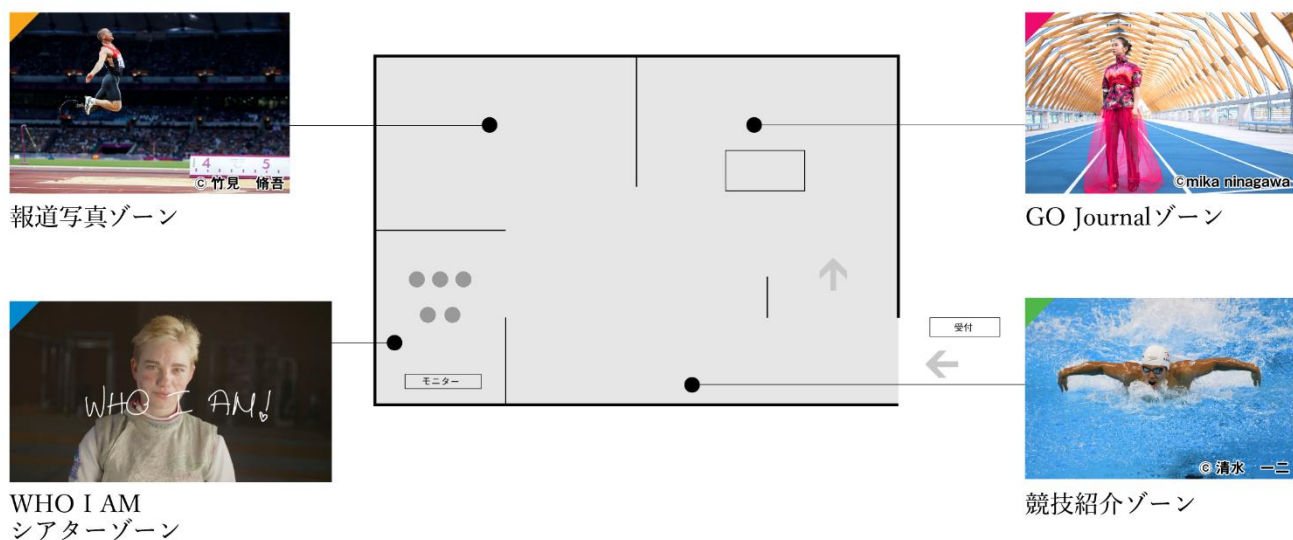


義足や競技用ボールも展示しています



GO Journal も先着順で配布中！

## 写真展【PARA ATHLETE】構成



### GO Journal ゾーン

蛭川実花氏が監修するパラスポーツと未来を突き動かすグラフィックマガジン「GO Journal（ゴージャーナル）」1号から「ブラインド特集」3号に掲載した写真から17点をセレクトし高画質、高精細の大判写真で魅せる迫力の展示。

- 1号 山本篤選手（陸上） | 重本（辻）沙絵選手（陸上）
- 2号 一ノ瀬メイ選手（水泳） | 山田拓朗選手（水泳）
- 3号 藤本聡選手（柔道） 以上 撮影：蛭川実花氏
- 3号 浦田理恵選手（ゴールボール） 撮影：新津保健秀氏

会場ではGO Journalを無料配布します（在庫が無くなり次第終了予定）。

公式サイト | <http://www.parasapo.tokyo/gojournal/>

### 報道写真ゾーン

過去最高 278 万枚のチケット販売数を記録し「史上最高のパラリンピック」として語り継がれるロンドン 2012 パラリンピック、会場が揺れるほどの大きな歓声の中、多数の世界新記録やパラリンピック新記録が生まれ熱戦が繰り広げられましたリオ 2016 パラリンピック。4年に一度のこの日、だからこそカメラが捕えることができるパラアスリートの輝きを伝える報道写真 17 枚を展示。

### WHO I AM ミニシアター

東京パラリンピックが開催される 2020 年まで 5 年間にわたり、世界最高峰のパラアスリートたちに迫る IPC（国際パラリンピック委員会）と WOWOW の共同プロジェクト・パラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ「WHO I AM」シーズン 1～3 からダイジェスト映像 21 本\*を上映。公式サイト | <https://www.wowow.co.jp/sports/whoiam/>

\*上映リストは別紙資料ご参照ください。

### 東京 2020 パラリンピック競技大会 22 競技紹介

約 1 年後に迫った東京大会。史上最多 4,400 人の選手たちが、2020 年 8 月 25 日の開会式翌日から 9 月 6 日まで、12 日間にわたり熱戦を繰り広げる 22 競技を報道写真を通じすべてご紹介。

義足や視覚障がいのある選手がプレイするゴールボール、5 人制サッカー（ブラインドサッカー）のボールも展示。